



雨の多い季節 風水害を防ごう

大雨、台風、ゲリラ豪雨など、雨の多い季節になります。

都市部では、雨水が地下に染み込みにくく、短時間に大量の雨水が河川や水路に集まります。そのため、首都圏各地では、雨水の処理が間に合わず河川の氾濫や地盤の低い地域への浸水がたびたび発生しています。

白岡市でも毎年のように道路冠水などがおこるなど、大雨による被害が発生しない年はありません。

みずから備える。自ら備える。

今一度、風水害対策についてご家族で考えてみませんか。



大雨が降る前に

◆日ごろの備え

側溝や雨水ますが詰まらないようにしましょう

落ち葉やごみによる側溝・雨水ますの詰まりは、道路冠水や宅地への浸水を引き起こします。日ごろから側溝の清掃にご協力ください。

◆普段から風水害に備えましょう

住宅にも浸水や強風への備えが必要です。風や雨が強くなってきたから屋外を補強するのはたいへん危険です。日常的に点検しましょう。



大雨になりそうだと感じたら

◆すぐに気象情報をチェック

最新の気象情報を確認しましょう

大雨から身を守るには、最新の気象状況を確認することが大切です。警報や注意報が発表されていないか、雨雲が近づいていないかなどを確認しましょう。

※最新の気象情報は、テレビのデータ放送で確認できます。【dボタン】



大雨が降ってきたら

◆河川、側溝、マンホールに近づかない

増水した河川や、側溝に近づくと、たいへん危険です。また、雨水のマンホールは、水圧でふたが外れることがあります。身近な危険に注意しましょう。

◆東北道のカルバートボックス(トンネル)に注意

東北道のカルバートボックスは、台風や集中豪雨などにより、排水が雨量に追いつかない場合、浸水する危険があります。浸水時は、通行できませんのでご注意ください。



